



豫算額確定

三日月閣議の別報
十七日午後閣議の別報に、豫算額の確定が明記された。其の豫算額は、前年度に比し、歳入は約一億四千八百萬圓、歳出は約一億四千八百萬圓、と見込まれた。これは、前年度に比し、歳入は約一億四千八百萬圓、歳出は約一億四千八百萬圓、と見込まれた。

規約修正案否決

スウェーデンとノルウェーの間の海峽の航行の自由に関する規約の修正案が、スウェーデンの議会で否決された。この修正案は、スウェーデンの領土に通過する船舶の航行の自由を保障するものであった。しかし、スウェーデンの議会は、この修正案を否決し、従来の規約を維持する決意を示した。

海底線問題紛糾

米、日、英の領有に反対
海底線問題に関する紛糾が、米、日、英の領有に反対する国々によって引き起こされた。これらの国々は、海底線の領有が、海洋の自由航行を妨げるものであると主張している。一方、米、日、英は、海底線の領有が、海洋の資源の管理に必要であると主張している。

英國の一大脅威

過重の印度國境に迫る
英國の印度國境に迫る過重の脅威が、英國政府に大きな問題を生じさせている。この脅威は、印度國境の過重の人口増加と、資源の不足によって引き起こされている。英國政府は、この脅威に対処するために、様々な政策を実施している。

利權讓渡の規定

勞農政府より公布
利權讓渡に関する規定が、勞農政府によって公布された。この規定は、利權讓渡の条件と、その実施方法について定めている。これは、勞農政府の政策の一環として、利權讓渡を促進するための措置である。

セミヨフは海拉爾に

セミヨフは海拉爾に到着した。彼は、海拉爾の状況を視察し、その発展の可能性を探るために来た。セミヨフは、海拉爾の発展に大きな貢献をすることになるだろうと期待されている。

板挟みになった支那

獨逸加盟問題に關して
支那は、獨逸の加盟問題に板挟みになっている。獨逸の加盟は、支那の利益と、獨逸の利益とが衝突している。支那は、獨逸の加盟を支持する一方で、獨逸の利益を保護する必要がある。

日本に責任なし

徐樹錚の責任問題に關して
徐樹錚の責任問題に關して、日本は責任を負わないと主張している。日本は、徐樹錚の行動が、日本の政策に従ったものであると主張している。一方、徐樹錚は、自分の行動に責任を負うと主張している。

朝鮮の時局

何れも決定
朝鮮の時局は、何れも決定していない。朝鮮の未来は、朝鮮の人民によって決定されるべきである。日本は、朝鮮の未来に関与するべきではないと主張している。

國の對英通牒

草案の指示を要求す
國の對英通牒の草案の指示を要求する。この草案は、國の對英通牒の条件と、その実施方法について定めている。これは、國の對英通牒を促進するための措置である。

安福派の陰謀

防衛と國務院の通電
安福派の陰謀が、防衛と國務院の通電によって暴露された。この陰謀は、安福派の利益を保護するために、防衛と國務院の通電によって暴露された。

外蒙金礦探掘權

米國資本家が獲得
外蒙の金礦探掘權が、米國資本家によって獲得された。これは、米國資本家の利益を保護するための措置である。

露國郵便局撤廢

支那關係各國へ通告
露國の郵便局が、支那關係各國へ通告された。これは、支那關係各國の利益を保護するための措置である。

任俠なる日本

國民に感謝す
任俠なる日本が、國民に感謝された。これは、國民の利益を保護するための措置である。

修派社會主義論

修派社會主義論の概要
修派社會主義論の概要が、修派社會主義論の概要として示された。

無長篇小説

無長篇小説の概要
無長篇小説の概要が、無長篇小説の概要として示された。

早春

早春の概要
早春の概要が、早春の概要として示された。

最新刊

最新刊の概要
最新刊の概要が、最新刊の概要として示された。

大觀

大觀の概要
大觀の概要が、大觀の概要として示された。

社會問題思想問題の解決も忽ち成ら

社會問題思想問題の解決も忽ち成ら

完成

完成の概要
完成の概要が、完成の概要として示された。

哲學とは何ぞの問題は一讀釋然たら

哲學とは何ぞの問題は一讀釋然たら

哲學とは何ぞの問題は一讀釋然たら

哲學とは何ぞの問題は一讀釋然たら

哲學とは何ぞの問題は一讀釋然たら

哲學とは何ぞの問題は一讀釋然たら

哲學とは何ぞの問題は一讀釋然たら

哲學とは何ぞの問題は一讀釋然たら

哲學とは何ぞの問題は一讀釋然たら

哲學とは何ぞの問題は一讀釋然たら

哲學とは何ぞの問題は一讀釋然たら

哲學とは何ぞの問題は一讀釋然たら

日鮮警察用語

日鮮警察用語の概要
日鮮警察用語の概要が、日鮮警察用語の概要として示された。

波多野鼎譯

波多野鼎譯の概要
波多野鼎譯の概要が、波多野鼎譯の概要として示された。

口ア社會學

口ア社會學の概要
口ア社會學の概要が、口ア社會學の概要として示された。

修派社會主義論

修派社會主義論の概要
修派社會主義論の概要が、修派社會主義論の概要として示された。

無長篇小説

無長篇小説の概要
無長篇小説の概要が、無長篇小説の概要として示された。

早春

早春の概要
早春の概要が、早春の概要として示された。

最新刊

最新刊の概要
最新刊の概要が、最新刊の概要として示された。

大觀

大觀の概要
大觀の概要が、大觀の概要として示された。

社會問題思想問題の解決も忽ち成ら

社會問題思想問題の解決も忽ち成ら

完成

完成の概要
完成の概要が、完成の概要として示された。

哲學とは何ぞの問題は一讀釋然たら

哲學とは何ぞの問題は一讀釋然たら

哲學とは何ぞの問題は一讀釋然たら

哲學とは何ぞの問題は一讀釋然たら

哲學とは何ぞの問題は一讀釋然たら

哲學とは何ぞの問題は一讀釋然たら

哲學とは何ぞの問題は一讀釋然たら

哲學とは何ぞの問題は一讀釋然たら

哲學とは何ぞの問題は一讀釋然たら

哲學とは何ぞの問題は一讀釋然たら

哲學とは何ぞの問題は一讀釋然たら

哲學とは何ぞの問題は一讀釋然たら

哲學とは何ぞの問題は一讀釋然たら

哲學とは何ぞの問題は一讀釋然たら

財界の國際的觀察

財界の國際的觀察の概要
財界の國際的觀察の概要が、財界の國際的觀察の概要として示された。

社會運動の理想化

社會運動の理想化の概要
社會運動の理想化の概要が、社會運動の理想化の概要として示された。

過激派の文化政策

過激派の文化政策の概要
過激派の文化政策の概要が、過激派の文化政策の概要として示された。

見男女分業の限界

見男女分業の限界の概要
見男女分業の限界の概要が、見男女分業の限界の概要として示された。

職業と性的解放

職業と性的解放の概要
職業と性的解放の概要が、職業と性的解放の概要として示された。

行商の國際聯盟の悲劇

行商の國際聯盟の悲劇の概要
行商の國際聯盟の悲劇の概要が、行商の國際聯盟の悲劇の概要として示された。

或街の人々

或街の人々の概要
或街の人々の概要が、或街の人々の概要として示された。

最新刊

最新刊の概要
最新刊の概要が、最新刊の概要として示された。

大觀

大觀の概要
大觀の概要が、大觀の概要として示された。

社會問題思想問題の解決も忽ち成ら

社會問題思想問題の解決も忽ち成ら

完成

完成の概要
完成の概要が、完成の概要として示された。

哲學とは何ぞの問題は一讀釋然たら

哲學とは何ぞの問題は一讀釋然たら

哲學とは何ぞの問題は一讀釋然たら

哲學とは何ぞの問題は一讀釋然たら

哲學とは何ぞの問題は一讀釋然たら

哲學とは何ぞの問題は一讀釋然たら

哲學とは何ぞの問題は一讀釋然たら

哲學とは何ぞの問題は一讀釋然たら

哲學とは何ぞの問題は一讀釋然たら

哲學とは何ぞの問題は一讀釋然たら

哲學とは何ぞの問題は一讀釋然たら

哲學とは何ぞの問題は一讀釋然たら

江生

不逞鮮人

をして意義あらしめよ

同地職權在於現地職務を行

に對し木材商組合か

殺丁能のよしなれば充分各方
の註文に應じ得べし(平壤)

山に

それまでお話ししたことは他人に
眠らせる場合であるが、自入

問店毒

二月賞勳局より大禮記念章を授

與

人櫛ひの一行を引連れ乗込んで
下七日夜から釜山座で美々しく
演じたこれも大變な人氣であ

業其他甚大の影響

3

はない

る。最も甚だしいのは精神統一
なきを稱し、やたらに勝手な妄

王冠

電話 二六〇番
浪花館
十三日より歌舞笑話所作本部

人生は始まる

也而も旅行用として惣務用と
て一月も無くでならぬ日用品
但し其數一箇月限りの分

八の
日爲
よめ
り二

喜びを得る人は明日云は

早く上場
野に於



SPE
O SCOT

[illegible]

輕舉妄動を憐む

た役人に虐げられた
併合前に比べるど
今の朝鮮人は幸福だ

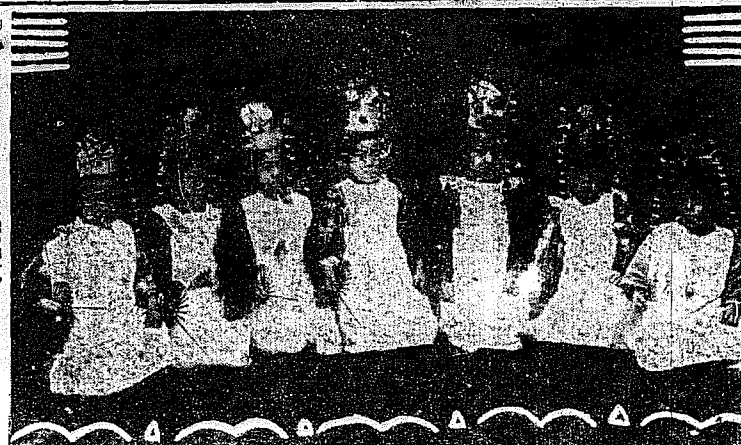
野戰交通都断ちて、久しく西伯利亞に隔たれてゐる。星野中將は、
に際して、ある日野田朝臣が、中將に
の函の赤字たる「野田」の印を
に投ぜし。線中差出迎へての記者
に對し打算するで、西伯利亞飛航に
發せ、船をつつて自國歸來修理運
給してと言ふ、然れども文章であら
ぬの辭に疑ひ太い體だとなまれ、
面々糊かに笑ひ降りてゐる。將軍
は如何なる御氣管で吹したたり
被さるべきやゆめしたり、絶つと

星野中將 諒のの中にその空想をよめた
故に朝鮮に歐洲にもなつて
私が探したのにそれだけ機
みを持つてゐる。始めて二
の土地を踏んだのは明治二
十日露戰役當時です。その
日、厚板の水車で後備隊
團に屬し押付たまへた上
に、大砲の下流に、それ
は京城城下を覗いて北進しま
す。今昔の感に堪へませんよ。

國境官憲の勞苦

警備の人達は碌々に眠りも得せず
危険の迫り来る中に立ちつゞける

醫者呼ぶに數百圓
國友尙謙氏詩
夫人は寒氣の
歩ひなり非常に困難
の各地方人が昇付て
たゞ一語であつたが折
は感東南方面にも數
の如くあつた



憂き春秋の追憶

切ない老の縁言に襟を正さずにはゐられない
飯泉氏母堂の婦徳

夫人をなくせられてまもない鮮
飯泉氏の御宅では米澤の齡に多い
あこ幾秋もない却母堂が大勢年
のお子様を相手に淋し



新聞人事部長 飯泉幹太氏の家族

古著屋の物語

へ換^カり^カに苦^ク八^ハ苦^ク四^シの屋^ヤ質^シ
由^ユ理^リい、妙^{ミョウ}の響^{キョウ}影^{エイ}界^{カイ}財^{サイ}許^コ茲^シ
民^{ミン}細^{サイ}服^{フク}洋^{ヤウ}は様^{ヤウ}客^{キヤク}お

云ふは先づ手を繰けてゐる時で、二十考、中處で十五考、開散たゆかになるゝ八考か十考しかつてのめになるのである。一寸見ると、あの目標の時所で高い家賃を拂つて、それ程寂れそうにも見えないところの古奢屋さんがだまき思へるに喩つてよけるものがある。

◆それに就いては前にも物語つて置いた如くに一枚の古奢に三ヶ月の金利を算積つてゐる位のものであらだけ三ヶ月目にしてその眼が買れて呉れ、ば生活する上に苦否はない譯のものである、若し其三ヶ月が無償に過したる古奢屋の主人がいづつ一此である

◆古奢の事には昨三考を説く

[illegible][illegible][illegible]

もてすから聞には假名を釘子
さへ見かへて居た人もあつ
たさうです。現今ではもう喧
れず静かです。中にもなるや
快にこゝろで二晩日の夜は皆
打集ふなの子でたのしなむ

ピアノの聲 共に興
がるのを聞かしてゐます。ただ
それにもこれにも嫌な電聲
と思はれて人知れ切りに思ひ
を致します。

放火人の形跡婦人の典型として
放火人の形跡婦人の典型として

られたあ、幽明その境をこに
してや、空靈、悉くこの道中の
しるしによるこのひのぞめれたに
であらう

彌國太夫・淨瑠璃
来る一日夜より三日間
諸館にて各振舞合大会
の事此夫及び六代目竹本國太
の事此夫及び六代目竹本國太
に假託して竹本國太太夫は今
三和町三丁目三番の店を開き來時
に其披露を兼ね各振舞合にて

した處、こんごは又死水を汲ん
 で貰へ、客の嫁に先立たれたもの
 ので老の身の感觸ッはさ、天命
 しばきあらめて出るもの、何う
 につけ嫁はつきません、それ
 に思ふ嫁は世間普通申す様な
 間隙もなく、それこそ
 温い心、で取りかは
 されてゐましたので一層愚痴
 が出来ます。古い拙語ですが私
 達の所からいへば、
 左の連合會を創られた會々さん
 全職員生徒一同各級卒業生で
 数多にて先づ香煙纏々たる靈園
 に静寂初め集會者一同葬式水い
 で改良は故人の遺志を被服
 し集ふ人をしてその生前を偲び
 感涙からしめた後木願寺僧侶の
 牧音刺繍中の唐衣口を押しし
 通して女生の唐衣をいしむ
 宗祇を背景とし佛佛を基礎と
 た一處の講義があつては閉む

[illegible][illegible][illegible]

此藥水久賣受一
 無效者王爺大
 丁巳年三月九
 豐國商會

高 廉 價 提 供
 指銀廿八圓以上
 右仕人物類以上

本藥水用藥料非尋常
 本藥水用藥料非尋常
 本藥水用藥料非尋常

出藥品有十餘種長短對
 東京神田區松永町廿五

服 洋 等 高
 堀洋服店

職業
 原資 勞働 男女 諸君
 要請 出陣 無休
 道具 一切 貸與
 大正九年
 十月八日
 東京
 堀佐藏

も。随分お不自由を願つて居りました。これではいけない。この秋から非常の苦心の上。新柄の圖案を示し。機家を督勵して織らせたものが。今度悉皆出来上つて参りました。もう一度御こしの上御覽下さいまし。


秋
ちよゆや

京坂本町三丁目

▲地方からの御注文は男女御年ごろ柄のお好み柄か、紺ごかの、値段なき御申し下さいませ。すつこ。御氣に召す柄を選んで御送り申上げますから。御安心の上御注文を願ひます。

萬一御不向きの際は御返替は、勿論のこと。現役でも御返申上げます

能率(年産)
呷筒 千五百
景水器 萬 壹
四 個


 株式會社
 大阪縫機工作所
 資本金 五萬圓
 工場敷地 六千坪
 電話北 自一七〇〇 至一七〇二
 振替口座大阪三〇〇番

營業科目

一、各種紡績機械並三附屬品

二、各種唧筒
灌溉、浚深、排水、鑛山水道其他給水用等

三、水道用量水器
東京、大阪、京都、名古屋其他大都市側用

四、陸海用補助機

大坂市外豊崎町南濱

醫學博士
 古**城憲治**
 施**療**す
 日一初至開診
 費四
 入院隨意
 每日五名を限
 化質病院
 内科
 小兒科
 優等清酒
 藥
 富安本庄
 京城永樂堂丁目
 製元富安
 瓶取口廣四三九
 掛賣御前
 福間縣井部山川村





陸軍の年末賞與

他所では少いものを見越し
更に増上りぬが

陸軍は去年より餘計に大分増し、十一月三十一日現在の賞與は、前年より一割以上増した。これは、前年より戦況が好転したためと見られる。特に、戦線に在る兵士への賞與は、前年より二割以上増した。これは、兵士たちの士気を鼓舞するためと見られる。また、後方勤務の兵士への賞與も、前年より一割以上増した。これは、後方勤務の兵士たちの労をねぎらうためと見られる。

大邸の死活問題

製糖工場の操業中止に就て
齋藤總督に陳情す

大邸の死活問題は、製糖工場の操業中止に就いて、齋藤總督に陳情する問題である。大邸は、製糖工場の操業中止を主張し、齋藤總督に陳情した。齋藤總督は、大邸の主張を聞き入れ、製糖工場の操業中止を決定した。これは、大邸の主張が正しいと見られる。また、大邸は、製糖工場の操業中止を決定した。これは、大邸の主張が正しいと見られる。

婦人見學は今日

参加員のお方は
此の注意を御覽下さい

婦人見學は、今日開催される。参加員のお方は、此の注意を御覽下さい。婦人見學は、婦人たちの知識を深め、社会生活を送るための機会である。参加員のお方は、婦人見學に参加し、婦人たちの知識を深め、社会生活を送るための機会である。参加員のお方は、婦人見學に参加し、婦人たちの知識を深め、社会生活を送るための機会である。

彼は斯うして 罪に陥れた

馬鹿を見た約三十人
彼は前科者の曲者で
御尋ね者だった

彼は、馬鹿を見た約三十人、彼は前科者の曲者で、御尋ね者だった。彼は、馬鹿を見た約三十人、彼は前科者の曲者で、御尋ね者だった。彼は、馬鹿を見た約三十人、彼は前科者の曲者で、御尋ね者だった。彼は、馬鹿を見た約三十人、彼は前科者の曲者で、御尋ね者だった。

日本軍隊の 駐屯を請願

駐屯を請願する
日本軍隊の駐屯を請願する

日本軍隊の駐屯を請願する。日本軍隊の駐屯を請願する。日本軍隊の駐屯を請願する。日本軍隊の駐屯を請願する。日本軍隊の駐屯を請願する。日本軍隊の駐屯を請願する。日本軍隊の駐屯を請願する。日本軍隊の駐屯を請願する。

山田枝郎の死

龍井村へ
山田枝郎の死

山田枝郎の死。山田枝郎の死。山田枝郎の死。山田枝郎の死。山田枝郎の死。山田枝郎の死。山田枝郎の死。山田枝郎の死。山田枝郎の死。山田枝郎の死。

巡査の勤めは辛い

鬼角の批評はあるが
制度が無理なのだ

巡査の勤めは辛い。鬼角の批評はあるが、制度が無理なのだ。巡査の勤めは辛い。鬼角の批評はあるが、制度が無理なのだ。巡査の勤めは辛い。鬼角の批評はあるが、制度が無理なのだ。巡査の勤めは辛い。鬼角の批評はあるが、制度が無理なのだ。

邪淫の 権化

自分の娘と
情交を結ぶ

邪淫の権化。自分の娘と情交を結ぶ。邪淫の権化。自分の娘と情交を結ぶ。邪淫の権化。自分の娘と情交を結ぶ。邪淫の権化。自分の娘と情交を結ぶ。邪淫の権化。自分の娘と情交を結ぶ。

五人組の 強盗

代表者は局長
五人組の強盗

五人組の強盗。代表者は局長。五人組の強盗。代表者は局長。五人組の強盗。代表者は局長。五人組の強盗。代表者は局長。五人組の強盗。代表者は局長。

馬賊の留守見舞

支那官兵に追拂はる
附近住民の人心悩々

馬賊の留守見舞。支那官兵に追拂はる、附近住民の人心悩々。馬賊の留守見舞。支那官兵に追拂はる、附近住民の人心悩々。馬賊の留守見舞。支那官兵に追拂はる、附近住民の人心悩々。馬賊の留守見舞。支那官兵に追拂はる、附近住民の人心悩々。

珍強盗

牛と馬を盗
強盗の珍強盗

珍強盗。牛と馬を盗。強盗の珍強盗。珍強盗。牛と馬を盗。強盗の珍強盗。珍強盗。牛と馬を盗。強盗の珍強盗。珍強盗。牛と馬を盗。強盗の珍強盗。

生徒募集

大正十一年一月六日より
朝鮮總督府通信局海員養成所

生徒募集。大正十一年一月六日より、朝鮮總督府通信局海員養成所。生徒募集。大正十一年一月六日より、朝鮮總督府通信局海員養成所。生徒募集。大正十一年一月六日より、朝鮮總督府通信局海員養成所。生徒募集。大正十一年一月六日より、朝鮮總督府通信局海員養成所。

農家の渴望

粉摺機出現
世界一の粉摺機

農家の渴望。粉摺機出現、世界一の粉摺機。農家の渴望。粉摺機出現、世界一の粉摺機。農家の渴望。粉摺機出現、世界一の粉摺機。農家の渴望。粉摺機出現、世界一の粉摺機。

蹴球競技會

来月廿五日舉行
蹴球競技會

蹴球競技會。来月廿五日舉行。蹴球競技會。来月廿五日舉行。蹴球競技會。来月廿五日舉行。蹴球競技會。来月廿五日舉行。蹴球競技會。来月廿五日舉行。

武道大會

仁術の
武道大會

武道大會。仁術の。武道大會。仁術の。武道大會。仁術の。武道大會。仁術の。武道大會。仁術の。武道大會。仁術の。武道大會。仁術の。

七軍飛行大佐
東京へ向ふ
折角の駐米は、昨午、東京へ向ふ。折角の駐米は、昨午、東京へ向ふ。折角の駐米は、昨午、東京へ向ふ。

株式

前場軟調
後場同調

前場軟調
後場同調
東京配當落
前場内配
乙部出来値
主要株歩み値

米

米況
米市

米況
米市
米市
米市

米

米市

米市
米市
米市
米市

米

米市

米市
米市
米市
米市

米

米市

米市
米市
米市
米市

米市
米市
米市
米市

米

米市

米市
米市
米市
米市

米

米市

米市
米市
米市
米市

米

米市

米市
米市
米市
米市

米

米市

米市
米市
米市
米市

米

米市

米市
米市
米市
米市

米市
米市
米市
米市

米

米市

米市
米市
米市
米市

米

米市

米市
米市
米市
米市

米

米市

米市
米市
米市
米市

米

米市

米市
米市
米市
米市

米

米市

米市
米市
米市
米市

大品附歳暮大賣出

山邑酒造株式會社
山邑酒造株式會社
山邑酒造株式會社
山邑酒造株式會社

有田音松
有田音松
有田音松
有田音松

